

まちびかスターダスト

SDGsレンズで地域を見る



環境科学科マスコットキャラクター
カンちゃん

2019年3月26日(火) 14:00~17:00

麻布大学 8号館7階百周年記念ホール

参加費
無料



お茶を飲みながら学生と「まち美化」について語りませんか?

麻布大学では相模原市の「街美化アダプト制度」に参加し環境科学科の学生が中心となり歩道の清掃活動を長期に亘り継続してきました。また、ゴミの散乱状況の長期的な推移をデータとして計測・分析しまち美化活動の効果測定の研究に取り組んできました。活動を通じてまち美化をしている多くの人たちと出会い、楽しく協働しました。環境カフェではお茶を飲みながら麻布大学の活動と研究の成果を共有しその可能性について学生と皆さんで語り合います。



「まちびかスターダスト」

的スターダストとは「散らばって光る無数の星」「星屑」。まち美化のきらめく星たちが環境カフェで再会あるいは出会い、一緒に地域を輝かせてゆくことを願ってイベント名を「まちびかスターダスト」にしました。まち美化に興味ある人、実践している人、支援している人、SDGsに興味ある人、学生や子どもたち、自治会や商店街など地域の星たちと出会いたい人はぜひご参加ください。



アダプトプログラムとは?

アダプト(Adopt)とは「養子縁組する」を意味します。「アダプトプログラム」はテキサス生まれで、瞬く間全米に広がった活動です。日本でも市民や企業が「一定区画の道路や公園」などの里親となって清掃美化し、行政がこの活動を支援しています。市民と行政が対等なパートナーとして協働するまち美化活動は、全国の自治体に広がっています。



コーディネーター
村山史世 (麻布大学 環境科学科講師)
環境科学科の学生

主催：麻布大学(共催 麻布大学環境科学科)
後援：公益社団法人食品容器環境美化協会
相模原市(申請中) 神奈川県(申請中)
チラシ製作：麻布大学文芸サークル(←Twitter)



まち美化×「SDGs」

SDGsとは2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。世界を変革するための17の目的のうち、主に「11. まちづくり」「12. 生産と消費」「16. ガバナンス」「17. パートナーシップ」そして「4. 質の高い教育」にアダプト・プログラムは関連します。まち美化は地域から始めるSDGsの第一歩です。

プログラム

14:00~17:00

- オープニングスピーチ
浅利昌男（学長）
- 学生による成果発表
データで見るアダプト
まち美化×SDGs
活動によるまちの変化
- お茶会
学生や地域の方々と
お茶を飲みながら
フリートーク・交流

[麻布大学環境科学科HP](#)
[麻布大学いのちの博物館](#)

[申し込みはこちら](#)

携帯等からはこちら→



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



×



麻布大学
125th
since 1890